

【目指す生徒像と育てたい資質・能力】

(1) 中学校区で目指す子どもの姿

よりよい自己と社会の実現に向けて、共に挑む子ども（小中9年間の学びを通して）

(2) 寄居中学校で育てたい資質・能力

自律の心 ・挑戦しやり抜く心 (③) ・考え判断し行動する力 (①②)

・自らの将来を思い描き（夢）、その実現に向けて（挑戦）考え粘り強く取り組む

創造する力 ・認め合い貢献する心 (③) ・よく聴き表現する力 (①②)

・他者の存在を尊重し、より良い自己とより良い関わりを創造する

育成すべき資質能力 ①知識及び技能 ②思考力判断力表現力等 ③学びに向かう力、人間性等

教育目標 生きがい ～進んで学び、生きがいを求めて生きる～
思いやり ～思いやりの心をもって、共に助け合う～
自治の力 ～自らを律し、何事も最後までやり抜く～

重点目標 自律の心 創造する力

『躍進寄居は心と礼節』～ 夢・挑戦・感動 ～

育てたい資質能力と重点的な取り組み

挑戦しやり抜く力

- 目標達成に向けて挑戦する気概をもたせ、活動の見通しをもって粘り強く取り組むことのできる場や活動を組織します
- 安全に配慮するとともに、望ましい健康・体力作りと食生活のあり方を理解し、主体的に実践する態度を育てます。

考え判断し行動する力

- 「自己を見つめ、振り返る」時間や機会を設定し、状況を見極めて適切な判断し行動する力を育みます。
- 追求意欲が高まる「課題」設定、学びを定着・深めさせる「まとめ」と「振り返り」を工夫し、学ぶ意欲と学びを調整する力を育てます。

認め合い貢献する力

- 教育活動において、傾聴・受容と支援を意識して支持的風土を醸成するとともに、社会や集団へのより良い関わり方を考えさせ、貢献意欲を育みます。
- 道徳の時間を核とし、他者に共感できる心と、自他の命と人権を尊重する態度を育てます。

よく聴き表現する力

- 課題追求の過程で、ICT端末等により得た情報を活用しながら得た知識や考えを、自分の言葉で表現する活動を取り入れます。
- ICT端末やファシリテーション等の手法を用いた交流（対話的な活動）を通して、納得できたり最適と思われる答えを見いだしていく活動を取り入れます。

学びの環境整備

- 「寄居中スタンダード10」を実践し、UDLの視点から学びやすい学習環境を整える。
- 生徒の実態に合った「合理的配慮」や「個別の支援計画」により、自己実現を図れるよう特別支援教育を推進する。
- 保護者の願いを理解し受け止めることで信頼関係を築き、連携して教育に取り組む。